

地球の未来を拓くテクノロジーの祭典

Tech GALA

2025.2.4^{TUE} ▶ 6^{THU}

📍 Nagoya



奥田 浩美

Hiromi Okuda

株式会社ウイズグループ 代表取締役
TechGALA総合イベントプロデューサー

ムンバイ大学（在学時：インド国立ボンベイ大学）大学院社会福祉課程修了。1991年にIT特化のカンファレンス事業を起業。2001年に株式会社ウイズグループを設立。2013年には過疎地に株式会社たからのやまを創業し、地域の社会課題に対しITで何が出来るかを検証する事業を開始。委員：環境省「環境スタートアップ大賞」審査委員長、経産省「未踏IT人材発掘・育成事業」審査委員、厚労省「医療系ベンチャー振興推進会議」委員等、著書：ワクワクすることだけ、やればいい！（PHP出版）ほか

地球の未来を拓く、

テクノロジーの祭典へようこそ。

世界的なイノベーションの発信地であり、
地球との共生を目指し、先進的な取り組みに
邁進する都市、愛知・名古屋。

2025年2月。

地域や文化、性別や人種、あらゆる壁を越え、
ここに、新たなコミュニティが誕生する。

語られるのは、革新性の高いテクノロジー。
そして、刺激的な未来予想図。

ビジネス、サイエンス、エンジニアリング...。
業界や職種の枠に囚われず、
いま現在の社会をリードする
プロフェッショナルたちが集結し、新たな連携を生み出す。

その瞬間を、あなたと一緒に目撃したいと思う。

「TechGALA」。新たな時代の道標となる祭典。
ともに希望を歌い、未来を照らす灯火を掲げよう。

Global

世界中からの参加者とアイデアの集約

Alliance

異なる分野・文化の人の協力・連携

Leadership

イノベーションの未来の方向性を牽引する力

Advancement

最新の技術とアイデアの進展

TechGALA

日程 2025年2月4日（火）～6日（木）

主催



場所

愛知県名古屋市

栄地区（中日ホール&カンファレンス、
ナゴヤイノベーターズガレージなど）

鶴舞地区（STATION Aiなど）



時間

10:00-18:00（予定）※オフラインのみでの開催予定

スペシャルパートナー



参加費用

有料（チケットは10月上旬発売開始予定）

Content Theme

コンテンツテーマ

Mobility

境界を超えるモビリティ革命

Sustainable Environment

持続可能な
地球環境の実現

LifeScience / Well-being

ライフサイエンスと
Well-beingの革新

Material

マテリアル革新力：
世界産業全体の強靱化

Advanced Technology

テクノロジーとの共生：
産業革新と社会変革

Programs

多彩なプログラム



Session

各分野において、最前線で活躍する方々が一堂に会します。



Hackathon

未来を切り拓くアイデアをカタチにするプログラムに参加しませんか？




Pitch Contest

TechGALA目玉コンテンツとなるスタートアップピッチコンテストを開催します。



Side Events

多様なサイドイベントを開催してくれる方々を募集します。



Networking

登壇者や一部チケットでの参加者による特別な交流会を開催します。

地球の未来を拓くテクノロジーの祭典

Tech GALA

2025.2.4^{TUE} ▶ 6^{THU}

📍 Nagoya

スタートアップエコシステムの 国内外の現状と今後の発展について



奥田 浩美氏

株式会社ウィズグループ 代表取締役
TechGALA総合イベントプロデューサー



中村 亜由子氏

株式会社eiicon
代表取締役社長



今田 素子氏

株式会社メディアジーン
代表取締役CEO



中村 亜由子

株式会社eiicon 代表取締役社長

2015年にパーソルグループ内新規事業として『eiicon』を起案創業/サービスリリース。2023年4月にMBOし(株)eiiconとして独立起業。法人登録累計3万社超の日本最大級のOIプラットフォーム『AUBA』等を運営。2023年12月には株式会社XSproutをSpiralグループとのJVで設立し取締役役に就任。

著書『オープンイノベーション成功の法則』(クロスメディア・パブリッシング 2019)



今田 素子

株式会社メディアジーン 代表取締役CEO

出版業界で編集発行・海外版權交渉に関わった後、1994年に

『WIRED』日本版の立ち上げ及びビジネス・マネージャーを務める。

1998年に株式会社メディアジーンを創業し、2015年には株式会社インフォバーンを新設分割により設立。『Business Insider Japan』、『ギズモード・ジャパン』など17のブランドを運営。2023年にTNLメディアジーンを共同創業、COO及び社長に就任。


1st Question



**国内のスタートアップエコシステムの
現状や課題は？**

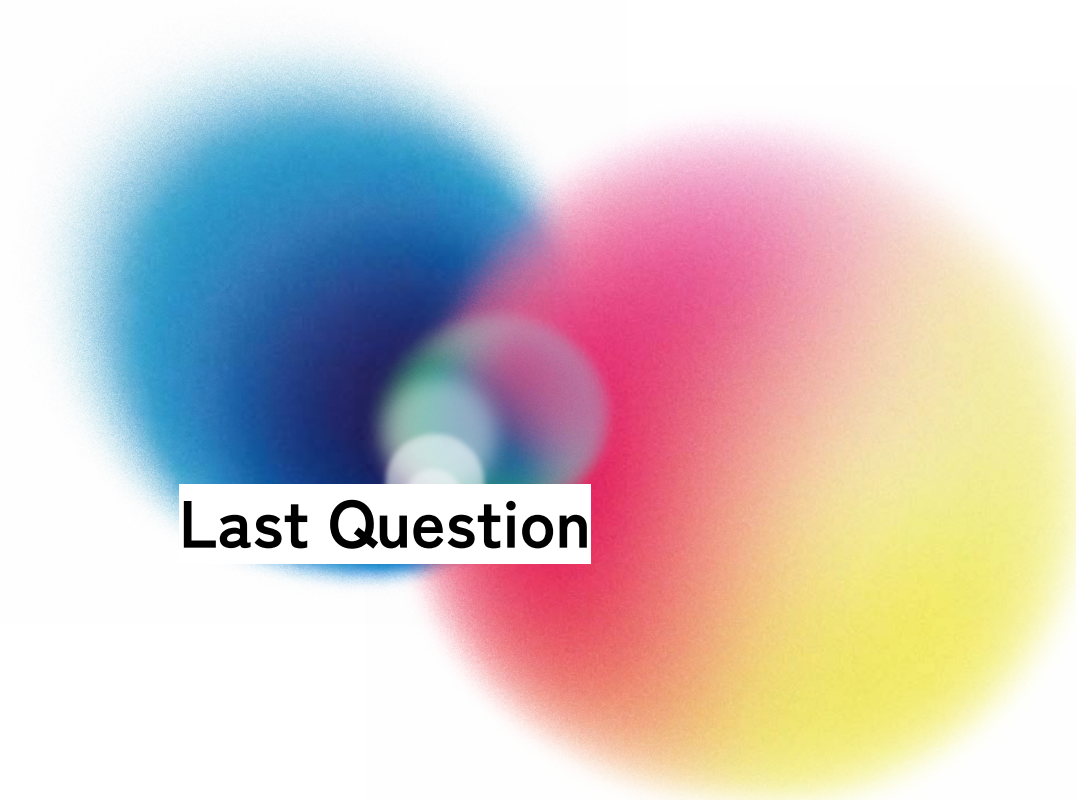
2nd Question

**国外で起きているスタートアップエコシステムの
現状と、日本とのギャップは？**



3rd Question

日本のスタートアップ市場に
いま求められていることは？



Last Question

TechGALAの開催にあたって期待することは？

地球の未来を拓くテクノロジーの祭典

Tech GALA

2025.2.4^{TUE} ▶ 6^{THU}

📍 Nagoya

国内アンバサダー



西山 直隆氏

Tech Japan株式会社
代表取締役



藤本 あゆみ 氏

一般社団法人スタートアップ
エコシステム協会 代表理事



青山 裕紀 氏

株式会社Splink
代表取締役



中村 亜由子 氏

株式会社eiicon
代表取締役社長



牧野 隆広 氏

株式会社ミライプロジェクト
代表取締役



粟生 万琴 氏

株式会社LEO 代表取締役
なごのキャンパス 企画運営
プロデューサー
武蔵野大学アントレプレ
ナーシップ学部教授



今田 素子 氏

株式会社メディアジーン
代表取締役CEO



藤田 豪 氏

株式会社MTG Ventures
代表取締役



Antti Sonninen 氏

Takeoff Tokyo
Co-founder、CEO



西山 直隆

Tech Japan株式会社 代表取締役

米国公認会計士の資格を取得後、デロイトトーマツグループにてベンチャー企業の成長支援に従事。Morning Pitch 総合プロデューサーとして国内外において、多くのスタートアップイベントを企画・運営。その後、アジア地域統括としてインドチームを立ち上げ多くの日印ビジネス連携を創出。2019年にTech Japanを創業し、インド最高峰の理系教育機関であるインド工科大学と独自に提携し、学内で活用されている唯一のリクルーティング・プラットフォームを開発・運営。経済産業省、インド大使館と運営する”日本におけるインド人材採用のワーキンググループ”にて議長を務める等、日印間での人材交流を推進している。



藤本 あゆみ

一般社団法人スタートアップエコシステム協会
代表理事

大学卒業後、キャリアデザインセンター、グーグルにて法人営業に従事。2016年にat Will Workを設立。お金のデザインでPR/Marketingにキャリアチェンジをし、Plug and Play Japan株式会社でCMOとしてマーケティングとPRを統括。2022年にはスタートアップエコシステム協会を設立、代表理事に就任。東京都スタートアップ戦略フェロー、文部科学省アントレプレナーシップ推進大使、内閣府規制改革推進会議スタートアップ・投資ワーキンググループ専門委員。



青山 裕紀

株式会社Splink 代表取締役

株式会社Splink 代表取締役。株式会社キーエンスに新卒入社、史上最年少・最多のトップセールスを受賞、北米における事業開発、中南米の現地法人立ち上げに従事。家族の脳疾患との闘病を機に、起業を決意。シリコンバレーに渡りベンチャーキャピタルにてEiR（客員起業家）を経て、2017年に脳神経領域の医療AIスタートアップであるSplinkを創業。ダートマス大学経営大学院（MBA）。日本知財学会 理事、AI医療機器協議会 理事を務める。



中村 亜由子

株式会社eiicon 代表取締役社長

2015年にパーソルグループ内新規事業として『eiicon』を起案創業/サービスリリース。2023年4月にMBOし(株)eiiconとして独立起業。法人登録累計3万社超の日本最大級のOIプラットフォーム『AUBA』等を運営。2023年12月には株式会社XSproutをSpiralグループとのJVで設立し取締役就任。

著書『オープンイノベーション成功の法則』(クロスメディア・パブリッシング 2019)



牧野 隆広

株式会社ミライプロジェクト 代表取締役

名古屋生まれ、名古屋育ち、名古屋大学卒

電通国際情報サービス、マイクロソフトを経て、インスパイアで投資
ファンドの運営と経営コンサルティングを経験

エイチーム取締役として数名のスタートアップが東証一部上場企業に
なるまでを経験し、現在、ミライプロジェクトで地元への貢献を目的
に介護・看護事業、スタートアップ支援などを行いながら、名古屋大
学発スタートアップのアイクリスタル取締役、名古屋大学 客員教授
などを兼務



栗生 万琴

株式会社LEO 代表取締役

なごのキャンパス 企画運営プロデューサー

武蔵野大学アントレプレナーシップ学部教授

エンジニアとしてソフトウェア開発に従事した後、事業会社にて2012年TECH系カンパニー 女性初の役員に就任、社内ベンチャーを立ち上げ事業分社、産官学連携スタートアップの起業支援に従事。2016年関西発AIベンチャー、株式会社エクサインテリジェンス（現 株式会社エクサウィザーズ）創業 取締役COOを経て、第2創業として株式会社LEOを設立。名古屋駅前の廃校になった小学校 次の100年をつくるインキュベーション施設「なごのキャンパス」プロデューサー、ZIP-FM「Startup [N]」のナビゲーターの傍ら、武蔵野大学アントレプレナー学部教授、名古屋大学 産学官連携 客員准教授、名古屋市教育委員を兼務。2022年よりCentral Japan Seed Fundのメンターも務める。



今田 素子

株式会社メディアジーン 代表取締役CEO

出版業界で編集発行・海外版權交渉に関わった後、1994年に

『WIRED』日本版の立ち上げ及びビジネス・マネージャーを務める。

1998年に株式会社メディアジーンを創業し、2015年には株式会社インフォバーンを新設分割により設立。『Business Insider Japan』、『ギズモード・ジャパン』など17のブランドを運営。2023年にTNLメディアジーンを共同創業、COO及び社長に就任。



Marcus Brauchli 氏

Blue Ocean Chairman

2008年9月から2012年12月までワシントン・ポスト紙のエグゼクティブ・エディターを務め、ウォール・ストリート・ジャーナル紙のトップ・エディターとして24年間、アジア、ヨーロッパ、米国の特派員兼編集者として活躍した。



Niko Woischnik 氏

Tech Open Air CEO

ベンチャーキャピタルでの勤務中に始めた副業として、テクノロジーやスタートアップに関する街の初の英語ブログであるTechBerlinを創設。その後、Ahoy! Berlinを創設し、最近はKnotellによって買収されました。さらに、テクノロジーフェスティバルであるTech Open Air (TOA) やテクノロジー企業向けのコミュニケーションエージェンシーであるOpenersも創設。

スペシャルパートナー

JETRO

日本貿易振興機構(ジェトロ)

STATION Ai



中村 寛子

株式会社メディアジーン

女性のエンパワメントを軸にしたダイバーシティ推進のビジネスカンファレンス「MASHING UP」の企画プロデューサーを務め、日本におけるフェムテックの啓蒙活動を行う第一人者。fermata株式会社共同創立者。TOAを含め、海外のテック・カンファレンスに造詣が深い。



Dr Adriana Marais 氏

Off-World Project

理論物理学を専門とし、彼女の博士号と博士研究員としての研究は、生物学における量子効果と宇宙における生命の構成要素の起源に焦点を当てていました。現在、アドリアナは南アフリカのステレンボッシュ大学および国立理論計算科学研究所の研究員であり、シンギュラリティ大学の教員でもあります。また、アフリカ宇宙開発財団の理事として、アフリカ初の月面ミッションであるAfrica2Moonプロジェクトの準備に携わっています。さらに、ジュネーブ科学外交アンティシペーター（GESDA）の宇宙資源に関する科学モデレーター、そしてTod'Aérs航空宇宙研究の宇宙科学部門の議長を務めています。2019年、アドリアナはSAPアフリカのイノベーション部門長の職を離れ、Proudly Humanを設立しました。現在、地球上および宇宙の極限環境に備えて、同組織のOff-World Projectを主導しています。



Marcus Brauchli 氏

Blue Ocean Chairman

2008年9月から2012年12月までワシントン・ポスト紙のエグゼクティブ・エディターを務め、ウォール・ストリート・ジャーナル紙のトップ・エディターとして24年間、アジア、ヨーロッパ、米国の特派員兼編集者として活躍した。



江守 正多 氏

東京大学 未来ビジョン研究センター 教授

1970年神奈川県生まれ。1997年に東京大学大学院 総合文化研究科 博士課程にて博士号（学術）を取得後、国立環境研究所に勤務。同研究所 気候変動リスク評価研究室長、地球システム領域 副領域長等を経て、2022年より現職。東京大学大学院 総合文化研究科で学生指導も行う。専門は気候科学。IPCC（気候変動に関する政府間パネル）第5次および第6次評価報告書 主執筆者。著書に「異常気象と人類の選択」「地球温暖化の予測は『正しい』か？」、共著書に「地球温暖化はどれくらい『怖い』か？」、監修に「最近、地球が暑くてクマってます。」等。記事やコメントは個人の見解であり、所属組織を代表するものではありません。



酒井里奈 氏

株式会社ファームステーション 代表取締役

国際基督教大学（ICU）を卒業後、富士銀行、ドイツ証券など金融系複数社に勤務。その後、発酵技術に興味を持ち、東京農業大学応用生物科学部醸造科学科に入学、2009年3月卒業。同年、株式会社ファームステーションを創業し代表取締役就任（現任）。



小木曾 麻里 氏

株式会社SDGインパクトジャパン

代表取締役Co-CEO

インパクト投資、社会起業家支援、インクルーシブビジネスの促進などSDG実現のためのビジネス、特にSDGファイナンスに幅広く携わる。2017年には国内で初めてのジェンダー投資ファンドであるアジア女性インパクトファンドを設立。世界銀行資本市場部、世界銀行グループ多国間投資保証機関（MIGA）東京代表、ダルバークジャパン代表、ファーストリテリンググループのダイバーシティ担当部長および人権委員会事務局長を歴任。W20日本デリゲート、国際協力機構海外投融資委員会有識者委員、WE Empowerのアドバイザーを務める。東京大学経済学部卒業。タフツ大学フレッチャース校修士。



松田崇弥 氏

株式会社ヘラルボニー

代表取締役 Co-CEO

小山薫堂が率いる企画会社オレンジ・アンド・パートナーズ、プランナーを経て独立。4歳上の兄・翔太が小学校時代に記していた謎の言葉「ヘラルボニー」を社名に、双子の松田文登と共にヘラルボニーを設立。「異彩を、放て。」をミッションに掲げる福祉実験カンパニーを通じて、福祉領域のアップデートに挑む。ヘラルボニーのクリエイティブを統括。東京都在住。双子の弟。世界を変える30歳未満の30人「Forbes JAPAN 30 UNDER 30」受賞。著書「異彩を、放て。—「ヘラルボニー」が福祉×アートで世界を変える—」。



安田クリスティーナ 氏

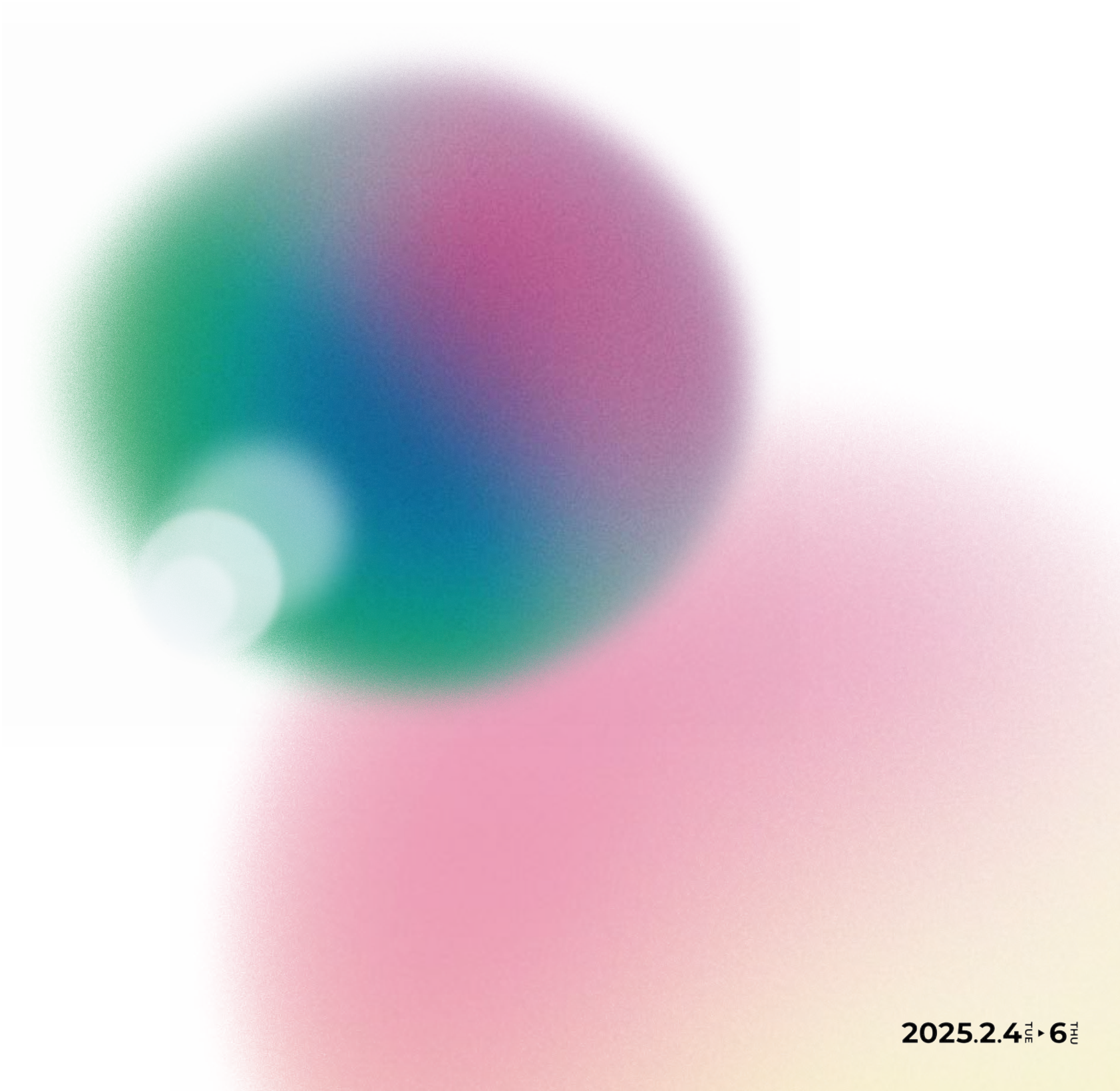
Bundesagentur für Sprunginnovation (SPRIN-D)

Identity System Architect

パリ政治学院政治学部法学部を主席で卒業。2016年に米NGO InternetBar.orgのディレクターに就任し、途上国における身分証明インフラを整備するデジタル・アイデンティティ事業を新設。

19年にマイクロソフトに入社し、分散型IDを含む身分証明規格の国際標準化に取り組む。同年、Forbes Japan 30 Under 30 に選出。2020年には、MIT Technology Review Innovators Under 35 Japanにも選出。

今年3月より、ドイツ政府のデジタルイノベーション局にて、Identity System Architectとして活躍。分散型IDサービスのインフラの構築を通じて、全ての人に身分証明手段を提供することを目指している。



Hack GALA

開くべきか？活かすべきか？
身の回りのBLACKBOXをアップデートせよ！

BLACK BOXとは、中身がわからない不気味なもの。
内部構造がわからなくても扱えるスマートフォン。外からの干渉を拒む組織など…。
私たちのまわりには、さまざまなBLACK BOXがあふれている。

その”箱”を開いて明らかにすべきなのか？それとも開けずにうまく活用する方法を考えるべきなのか？
自らの思考をアップデートし、新しい可能性を生み出す大いなる挑戦へ。
さあ、一歩踏み出してみよう。

10/16 (水)
ハッカソン説明会
参加者募集中！

TechGALAピッチコンテスト

TechGALA Global Startup Showcase

参加登録

1次審査 締め切り

2024.9.2 (月) ~ 2024.10.31 (木) 23:59



AICHI NEXT UNICORN LEAGUE

愛知発 次世代ユニコーンの創出を目指す

ビジネスプランコンテスト

シーズン3をTechGALAにて実施決定！

TechGALA Side Event

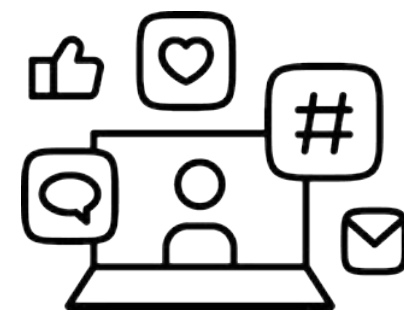
名古屋の街全体が舞台となるTechGALAのサイドイベントは、早朝から深夜まで1日中開催されます。あらゆる企業が主催する交流会はもちろんのこと、ウェルビーイングプログラムや勉強会、ワークショップ、クラブイベントなど、多種多様なプログラムが目白押しです。

また、どなたでもサイドイベントの主催者となることが可能です。サイドイベントの募集はすでに開始しておりますので、独自のアイデアで愛知の街を一体となって盛り上げましょう！

サイドイベント
主催企業
募集中！



参加者と濃密な
関係を構築



Web掲載とSNS上で
開催をサポート



公認サイドイベント主催者
にはチケットをプレゼント

地球の未来を拓くテクノロジーの祭典

Tech GALA

2025.2.4^{TUE} ▶ 6^{THU}

📍 Nagoya

10月上旬
チケット
販売開始
予定